

令和5年度 長崎歯科衛生士専門学校自己評価(歯科衛生士学科)

年度末評価平均

長崎歯科衛生士専門学校教職員による無記名アンケート方式  
※各質問項目に対して以下の4段階で評価したものを集計し、  
その平均値を評価基準として採用した。

- 4:十分に達成している
- 3:おおむね達成している
- 2:どちらかというと達成されていない
- 1:ほとんど達成されていない

【3.8】

学校教育基本方針(教育理念)
医療人として幅広い教養と倫理観を持ち、口腔保健に関する高度な専門知識と技術を有し、国民の歯科保健増進に寄与することができる人間性豊かな「人に優しい歯科衛生士」の育成を目指す
1. 学校教育目標
1.幅広い知識と豊かな人間性を有する歯科衛生士を育成する 2.高い倫理観を持つ歯科衛生士を育成する 3.高度化する歯科医療と社会環境の変化に対応し得る歯科衛生士を育成する 4.資質向上のため生涯学び続ける意欲を持つ歯科衛生士を育成する 5.多職種と連携し健康増進に貢献できる歯科衛生士を育成する 6.EBMに基づいた科学的な判断のできる歯科衛生士を育成する
2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画
1.歯科衛生士国家試験合格率100%および就職率100%を達成するとともに優秀な人材確保に努める 2.カリキュラムを充実させ、即戦力となる人材を育成する 3.健康管理や時間厳守といった自己管理ができる人材を育成する 4.コミュニケーション能力の高い人材を育成する 5.問題を見出し解決する能力を持つ人材を育成する

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

大項目	評価項目	自己評価		後期結果
		前期	年度末	
(1)教育理念 目標	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	4.0	【3.6】 ・令和7年度を目標に学則変更を予定している。
	・学校における職業教育の特色は示されているか	3.9	4.0	
	・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.2	3.2	
	・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生や関係業界、保護者等に周知されているか	3.3	3.3	
	・教育目標、育成人材像は学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.3	3.5	
(2)学校運営	・目的に沿った運営方針が策定されているか	4.0	4.0	【3.9】 ・前期で運営方針の機能が明確でないと判断したが、評価点数としては、すべて、3-4点であり、概ね機能していると考えてよい。
	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4.0	4.0	
	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4.0	4.0	
	・運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	3.7	3.5	
	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4.0	4.0	
	・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4.0	4.0	
	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.9	3.9	
	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.6	4.0	
	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5	3.3	
(3)教育活動	・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4.0	4.0	【4.0】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、前期に話題となった、社会のニーズとして考えられる歯科衛生士像としては、本校が目指す「患者に寄り添い患者のために働く人に優しい歯科衛生士」と結論付けると、学生は他人のためより自分が快適であることを望む傾向があり、社会に期待される人物像を想像する力をつけるカリキュラム編成を今後検討していく。
	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8	4.0	
	・カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	3.8	
	・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3.8	3.9	
	・授業評価の実施、評価体制はあるか	3.8	4.0	
	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.9	3.9	
	・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4.0	4.0	
	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9	4.0	
	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.9	4.0	
	・関連業界等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか	3.8	3.9	
	・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	3.8	4.0	
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.9	4.0		
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか	3.9	4.0	【3.3】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、新しい試みが専任の負担のわりに効果が見えず、内容の検討が必要である。
	・資格取得率の向上が図られているか	3.5	3.4	
	・退学率の低減が図られているか	3.2	3.0	
	・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3	3.2	
	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.4	3.1	
(5)学生支援	・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	4.0	【3.8】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、学生への生活環境の支援のポイントが下がっている。何が出来るのか具体的に考える必要がある。
	・学生相談に関する体制は整備されているか	3.9	3.9	
	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.9	3.9	
	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.9	4.0	
	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.7	3.5	
	・学生の生活環境への支援は行われているか	3.7	3.3	
	・保護者と適切に連携しているか	3.8	4.0	
	・卒業生への支援体制はあるか	3.9	3.8	
	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.9	3.5	
	・高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取組みが行われているか	3.8	3.6	

大項目	評価項目	自己評価		後期結果
		前期	年度末	
(6)教育環境	・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.8	4.0	【3.9】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、教育体制の整備についてできることを考える。
	・学内外の実習施設について十分な教育体制の整備をしているか	3.5	3.7	
	・防災に対する体制は整備されているか	3.9	4.0	
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は適正に行われているか	3.8	4.0	【4.0】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、今後も効果的なアプローチを検討したい。
	・学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.8	3.9	
	・学納金は妥当なものとなっているか	3.9	4.0	
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.6	3.5	【3.9】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、財務の安定は、学生数に比例すると考え(7)を充実させる。
	・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8	3.9	
	・財務について会計監査が適正に行われているか	4.0	4.0	
	・財務情報公開の体制整備はできているか	4.0	4.0	
(9)法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	4.0	【4.0】 ・点数としては4点であり、達成している。
	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9	4.0	
	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8	4.0	
	・自己評価結果を公開しているか	4.0	4.0	
(10)社会貢献 地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3.8	3.6	【3.3】 ・点数としては3-4点であり、概ね達成していると考えてよいが、社会貢献、地域貢献につながる活動について、何ができるのか引き続き検討する必要がある。
	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3	3.2	
	・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.2	3.1	

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

国家試験合格がいちばんの目標であるが、歯科衛生士国家試験の合格率より全国的なレベルの低下を感じる。この世代の学生の特性を知り、それに合う指導が必要である。また、さまざまな角度から歯科衛生士の魅力を発信することで、歯科衛生士を目指す学生を増やしたい。